

未来を見つめ、地域の発展を担う商工会議所

商工 ふくやま

2011
3
NO.557

福山商工会議所所報



福山市 ばらのイメージキャラクター
「ローラ」

巻頭 平成22年度福山商工会議所議員・創業永年会員・優良従業員表彰式

第1回ビジネス交流フェア実施報告

第4回福山知っとる検定実施報告

会社探訪／株式会社プロテック

私の青春／赤松治美〈福山商工会議所 副会頭〉

ホームページ <http://www.fukuyama.or.jp/>

E-mail : cci@fukuyama.or.jp

『安視ん君』をベースに町の

セーフティスポットを

株式会社プロテック



代表取締役 永井 健三 氏

今や、まちづくりのキーワードとなっているのが「安全・安心」である。日本ではかつて水と安全は無料というような考え方が支配的だった影響か、安全・安心を担保するビジネスが興隆したのは比較的最近のことである。

そんな中で創業以来、一環して地域の安全・安心をテーマに取り組む(株)プロテック(福山市南蔵王町)が今年創業30周年を迎える。同社は録画一体型の防犯カメラ「安視ん君」が東京や大阪で話題になるなど元氣あふれる企業だ。永井健三社長に同社のこれまでと、これからを聞いた。

「みのもんたさんも紹介した安視ん君」

「安視ん君」は防犯カメラとレコーダーを内蔵し、24時間いつでも録画・監視できる録画一体型の防犯カメラだ。工事の手間や初期費用が大幅に削減できることや、専門家の防犯設備士によるフ

ルメンテナンス付きということもあり、売り出しから3年目となるが、犯罪のないまちづくりへ向けて各地で引っぱりだこになりつつある。

東京や大阪など、都心部でも導入する動きがみられる。中でも東京・足立区では区内でも最も刑法犯の発生が多いとされる綾瀬駅周辺に「安視ん君」を複数設置したところ、昨年1月から4月の犯罪発生数が前年同期比で16%も減少したという。その成果がみのもんたさんがキャスターを務める朝の情報番組でも紹介された。

永井社長が「『安視ん君』をベースに町のセーフティスポットを作りたい」と話す由縁である。

「創業時から安全安心をテーマに事業展開」

(株)プロテックは永井社長が1981年(昭和56年)4月1日に設立した。当時の社名は「山陽プロテック」。5年後の11月に法人組織にする

とともに、社名を現在のものに変更した。

永井社長はもともと、セキュリティビジネスの出身ではないが、消防法の改正が相次ぎ、防火設備の設置と同時に、そのメンテナンスも義務づけられるようになったことからビジネスチャンスが到来を感じ、起業に踏み切ったという。当初は消防用設備を中心に事業展開したが、法人化の翌年の1987年(昭和62年)1月にセキュリティ産業への本格参入を目指し、もう一つの法人組織として「セキュリティハウス福山」を設立した。現在では防災とセキュリティの二本立てで事業展開している。主に法人を対象として福山を中心に、広島県東部から岡山県西部をカバーしている。

「住空間の安全安心を創り社会に貢献」

(株)プロテックの特色は警備会社に丸投げするよ



▲録画一体型防犯カメラ「安視ん君」

うなセキュリティシステムではなく、自己で機械を整備し、何か事あれば他人の手を借りないでオーナー自らが自己対応するというシステムをとっていることだ。「自分たちは(システムの)工事とアフターケアの会社(永井社長)というが、それだけにシステムを開発するメーカーとの連携が不可欠だ。営業エリア内で1商品1メーカーの原則で手を結んでいる。創業当初、世間ではまだ「安全安心」の概念はほとんどなかった。業界そのものがまだ新しいが「最終的には施主の懐に飛び込んでいかないといい仕事はできない」と言う。その上で「衣食住のうち住空間での安全安心を作る。電気、通信など我々が持つ技術で社会貢献する」。永井社長は(株)プロテックの経営理念をこう話す。

「アイネス・フクヤマにも設備を納入」

今年4月に福山市東桜町の旧繊維ビル跡にマンション、ホテル、商業施設等が集積する複合型の施設「アイネス・フクヤマ」がオープンする。地上部が最大28階で福山市内で最も高い建物になるほか、延床面積が5万1千平方メートルを超える大型施設だ。(株)プロテックはこの「アイネス・フクヤマ」の中央制御部分にあたる自動火災報知設備をはじめ、出入管理設備、LAN・電話設備、ホテルリネン設備などを納入している。さすがにこれだけの規模の取り引きは初めてになるが、なにしろ福山の新たなランドマークになると言われる施設

だ。「これをやったのは我々の誇り、トピックスだ」と永井社長は胸を張る。

地域の安全マップ作りを手助けしたり、昨年4月からは太陽光発電システムも手がけるなど守備範囲も広がりを見せている。3月8日から11日には東京ビッグサイトで開かれたセキュリティ・ショーにも出展。パージョンアップした「安視ん君」を披露した。

「備後地域を地盤に今後も事業展開」

永井社長は今後について「この地区から出ていく気持ちはない。取り扱っている設備をさらに磨いていく」と地元へのさらなる貢献を口にする。昨年からは健康増進のため、月の半分ぐらい朝歩くように心がけている。8年前から禁煙しているが「禁煙して太って入らなくなったズボンがまたはけるようになった」と笑う。

(取材・文 大陽新聞 塩田 聡)



(株)プロテック

■所在地 福山市南蔵王町6-17-8
 ■電話 (084)943-6444
 ■FAX (084)943-6446
 ■ホームページ
<http://www.pro-110-119.jp>